

# 納得と安心の住まいの為に 「住宅性能表示制度」と「瑕疵保証」の活用を！！

住まいの性能の正しい評価に加え  
さらに10年間の瑕疵保証が付きます。

## JIOは「日本住宅性能表示基準」に基づき住宅の性能評価をします。

住宅性能表示制度により、住宅の性能が共通のルールで比較でき、分かりやすくなります。  
JIOは国土交通大臣の指定住宅性能評価機関として、これから住宅をお求めになるお客様に対し、  
**ご自分のライフスタイルに合わせた住まいづくりをお手伝いいたします。**  
JIOの地盤調査の結果にしたがって基礎施工を行い、設計評価・建設評価を受け、合格した住宅は  
**あわせて10年間の瑕疵保証を受けることができます。**

### 評価対象住宅

新築の住宅が対象です。「新築の住宅」とは、新たに建設された住宅で、まだ人の居住の用に供したことがないもの(建設工事の完了の日から一年以内のもの)をいい、住宅の種類としては「住居専用住宅」・「店舗併用住宅」(店舗部分が延べ床面積の50%を超えないもの)が対象となり、住宅の工法としては、木造軸組工法、枠組壁工法(2×4工法)が対象です。

### 指定住宅性能評価機関

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」により建設大臣(現国土交通大臣)の指定を受け、住宅の性能評価を客観的に行う第三者機関です。



▲住宅性能評価機関指定書

### 性能評価とは

**性能評価には設計住宅性能評価と建設住宅性能評価があります。**

#### 【設計住宅性能評価】

- ① 予定されている建築業者と、取得しようとする新築住宅の狙いの性能のランクを決めます。その設計図書をJIOの評価員が評価し、「設計住宅性能評価書」(マーク付き)が交付されます。
- ② 契約はこの「設計住宅性能評価書」を添えて行います。

#### 【建設住宅性能評価】

- ③ 着工後、各工事の工程にあわせて現場の検査・評価を評価員が行います。設計時の性能が間違いなく現場で実現されていることを確認して「建設住宅性能評価書」(マーク付き)が交付されます。

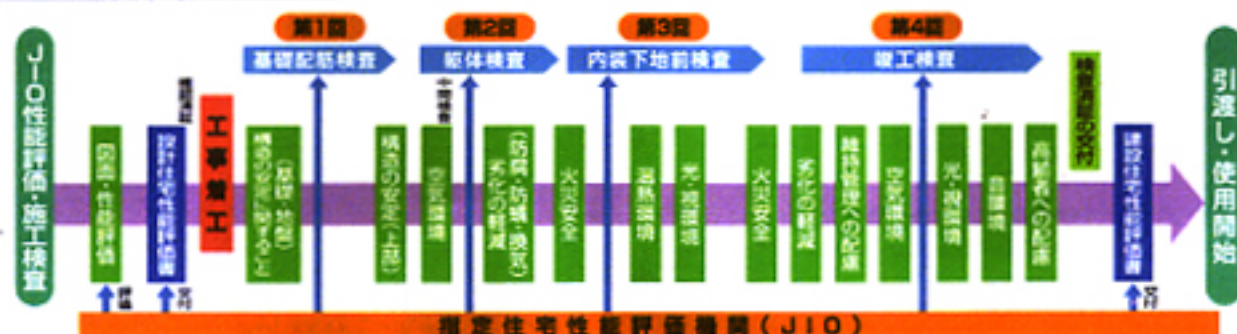
### 性能評価書マーク

設計住宅性能評価書・建設住宅性能評価書にはそれぞれ標準(マーク)が付与されます。



なお、それぞれの評価は評価方法基準に基づいて評価を行った結果であり、時間経過による変化が無いことを保証するものではありません。

### 性能評価・現場検査のながれ



### 現場検査

現場での検査は—

- ①基礎配筋検査 ②躯体検査 ③内装下地前検査 ④竣工検査の4回行われます。(標準的な一戸建て木造住宅の場合)